

市長定例記者会見事項書

日時 平成29年10月27日（金） 11時00分～
場所 庁議室（市本庁舎4階）

○平成29年度津市総合防災訓練

定例記者会見 平成29年10月27日(金) 11時～	
場 所 庁 議 室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
危機管理部 防災室 (電話059-229-3104)	防災室長 別 府 博

平成29年度津市総合防災訓練

平成29年度津市総合防災訓練を実施します。その内容は、別添資料のとおりです。



平成29年度

津市総合防災訓練



平成29年10月27日

平成29年度津市総合防災訓練日時・会場

訓練日時

平成29年11月12日 日 9時～12時

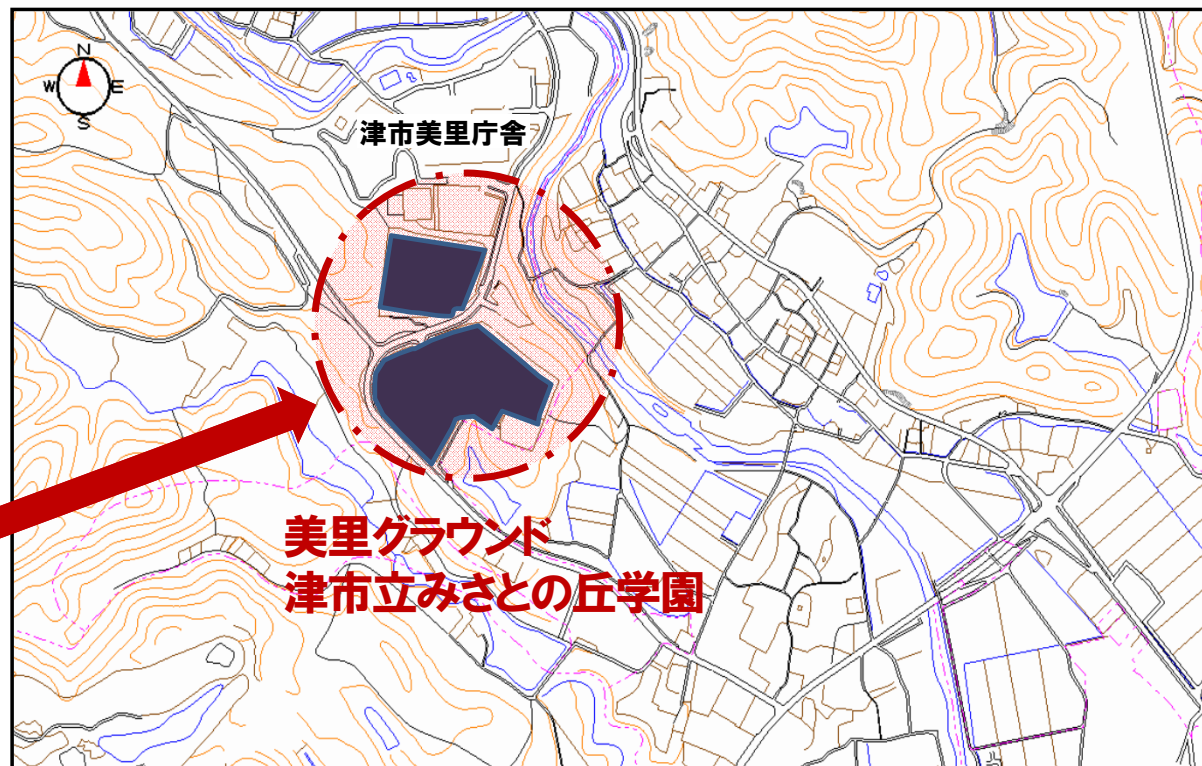
- 雨天決行
- 警報発表時は中止

訓練会場

美里グラウンド
津市立みさとの丘学園
ほか



訓練会場



訓練目的・実施方針

訓練目的

- ▶ 昨今の多様化する災害を踏まえ、各種災害を想定した防災訓練の必要性から、今年度の訓練は、直下型地震の発生に伴い、山間地域における土砂崩れ等の土砂災害の発災を想定した訓練を実施することにより、地震のみならず土砂災害への対応力の向上と災害時の被害の軽減を図ることを目的とする

訓練実施方針

- ▶ 防災関係機関をはじめ、自主防災組織や民間企業、ボランティア、地域住民が役割分担し、相互に連携しながら、実際に災害が発生したときを想定した実践的な訓練を実施する
- ▶ 訓練を通じて、地域の防災意識の高揚に努めるとともに、災害時の行動、判断力等の災害対応力の向上を目指す

訓練想定・3つの特色

訓練想定

平成29年11月12日(日)午前8時58分、布引山地東縁断層帯西部を震源とする地震が発生し、津市内で最大震度6強を記録、市内各所で建物の倒壊、火災、ライフラインの寸断など甚大な被害が生じている。また、前日から降る雨の影響で山間地域では、土砂崩れ等の土砂災害による被害も発生している

訓練の3つの特色

特色①

地震・土砂災害を
想定した訓練

特色②

災害による孤立
集落への災害対応

特色③

地域住民が主体
となった訓練

特色① 地震・土砂災害を想定した訓練

各防災機関が連携する合同訓練

自衛隊、警察、消防等の防災関係機関が**各災害想定において相互に連携し**、地震や土砂災害による要救助者の救助を主とした合同訓練の実施



住民の共助による避難・救助訓練

地域住民の共助による要配慮者との避難訓練や負傷者等の救助訓練の実施



実践的な防災訓練の実施

訓練時の状況設定をできるだけ現実を想定したものになるように、**ブラインド方式**を多く取り入れた**実践的な防災訓練**の実施



特色② 災害による孤立集落への災害対応

災害協定締結団体と連携した情報収集

災害協定に基づき、関係団体と連携し、ドローン等を活用しながら発災後の被害状況や孤立化した集落などの情報収集・伝達を図る訓練の実施



関係機関の連携による救出・救助訓練

防災関係機関と連携を図り、現在保有する装備を活用駆使しながら、孤立化した集落の負傷者等を救出・救助する訓練の実施



特色③

地域住民が主体となった訓練

将来の防災リーダーの育成

津市立みさとの丘学園の児童生徒約200名が、防災教育の一環として参加。未来の防災を担う児童生徒たちが各種災害に対応する訓練の実施



自主防災協議会美里支部による避難所開設訓練

災害時に「共助」により迅速な災害対応が図れるよう防災資機材等の使用方法をはじめ、地域住民による避難所開設訓練の実施



地域住民の防災意識の高揚

自治会、自主防災会、消防団、生徒など地域住民が協働で各種訓練を実施することにより、地域の防災意識の高揚と一体感の醸成



訓練内容

市・各防災関係機関

- 津市災害対策本部設置運営訓練
- 倒壊家屋救出訓練
- 土砂災害家屋等救出救護訓練
- 孤立集落住民救出・救助訓練
- 現場医療救護所訓練
- 後方支援病院搬送訓練
- 情報収集訓練
- 炊出し訓練

みさとの丘学園児童生徒・地域住民等

- 避難訓練
- 負傷者応急手当・搬送訓練
- 土砂撤去・救出訓練
- 避難所開設訓練
- 防災資機材取扱訓練
- 各種体験訓練 など

その他関係機関

- 災害ボランティアセンター開設訓練
- 情報収集・伝達訓練
- 障害物除去訓練
- 防災物品等の啓発 など

体験・啓発コーナー

- 消火器体験
- AED取扱い体験
- 煙体験
- 地震体験
- 住宅耐震促進啓発 など



平成29年度津市総合防災訓練参加機関

参加予定機関・人数

51機関 **約1,100人**

(内訳) 国・県関係 14機関 医療関係 8機関
市関係 5機関 民間企業 5機関
その他機関 19機関

※うち災害応援協定締結団体 24機関

平成28年度の参加機関・人数 110機関 約5,550人 ※昨年は三重県との合同訓練
※各地域での津波避難訓練参加者を含む

平成27年度の参加機関・人数 54機関 約1,400人



平成29年度津市総合防災訓練参加機関一覧

津市立みさとの丘学園、津市自主防災協議会、津市自治会連合会美里支部、津市婦人防火推進委員会、津市ボランティア協議会、津市身障者福祉連合会、三重県視覚障がい者協会、津市社会福祉協議会、みえ防災・減災センター、三重さきもり倶楽部中勢支部、みえ防災コーディネーター津ブロック、災害ボランティアアマチュア無線津、MPCパラモータークラブ、三重県ドローン協会、津地区医師会、久居一志地区医師会、津歯科医師会、津薬剤師会、三重県看護協会、三重大学附属病院、三重中央医療センター、三重県獣医師会津支部、津地方気象台、自衛隊三重地方協力本部、陸上自衛隊第33普通科連隊、航空自衛隊笠取山分屯基地、航空自衛隊白山分屯基地、第四管区海上保安本部、三重県警察本部、津警察署、三重県津地域防災総合事務所、三重県企業庁中勢水道事務所、三重県津保健所、三重県いなば園、三重県消防学校、津造園建設業組合、西日本電信電話三重支店、NTTドコモ東海支社三重支店、中部電力津営業所、中部電気保安協会津営業所、東邦ガス三重センター、コメリ災害対策センター、三重県レッカー事業協同組合、日本非常食推進機構、三重県行政書士会、三重県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、三重県建築士会津支部、草津市、津市消防本部、津市消防団、津市各部局

【敬称略、順不同】